

人のうごき

平成25年7月届出分を掲載(希望者のみ)

おたんじょう

佐々木 陽奈子^{ひなこ}ちゃん(翔・由美子) 北2の1

ごけっこん

浅井 駿^{さん} 楠美 李湖^{さん} 南6の4
 野村 賢一^{さん} 米谷 友紀^{さん} 南町
 酒井 祐輔^{さん} 岩崎 希美^{さん} 北1の2

おくやみ

水野 コト^{さん} 88歳 北町
 中佐 キクエ^{さん} 94歳 北2の1
 谷 ユミ子^{さん} 80歳 北5の1
 渡辺 ウメ^{さん} 90歳 朝日
 竹中 艶子^{さん} 96歳 天売



羽幌オロロンファイターズ 会長
阪本 義人さん(76才・南町)

全道大会で一勝するのが
チームの目標であり
自分の夢です

「この年まで野球ができるなんて幸せだね。野球は本当に奥深い。」そう話してくれたのは、還暦野球チーム羽幌オロロンファイターズの会長兼プレーヤーとしてご活躍の阪本さん。

「2年前チームができて初戦は函館の大会で帯広のチームとやったけれど、惨敗だったね。65(歳)以下が多いチームは走れるからやっぱり強いよ。」

それから、チーム一丸となつて土日に2時間。夏はスポーツ公園、冬は体育館で練習に励み、徐々に昔の勘を取り戻しながら打撃に磨きがかかり、勝ち星を増やしていったそうです。「一つのミスから、がらつと流れが変わり悔しい思いもしたよ。」と今年はあと一步のところまで落とし試合も多く、勝負の難しさを痛感したそうです。

中学から野球を始め、高校、社会人と選手としてご活躍された後は監督やコーチなどでも野球に携わってきた阪本さん。

「根っから野球が好きなんだよ。」「今は自分が教えた子どもがお父さんになってその子どもたちの試合を見るのが楽しみなんだよな。」と、毎日のように高校、中学、チビッコの練習や試合を見に出かけ、その話を食卓を囲んで奥さんとするのがとても楽しい日課だそうです。

編集後記

先日、還暦軟式野球の審判で羽幌オロロンファイターズのジャッジに行きました。チームは今年で3年目を迎えますが、私は初めて試合を拝見しました。メンバーは、高校球児に引けのならない声のかけ合いと笑顔が絶えることなく元気ハツラツに軽快なプレーをしていました。(我々役場野球部も見習わなければ...) 還暦試合は、ほとんどの大会でダブルヘッダーが当たり前でその体力には本当に驚かされます。

来月21・22日には、当チーム主催の大会が初めて羽幌で開催されます。往年の野球少年たちを応援にぜひグラウンドに足を運んでみてください。観戦しているだけでパワーをもらえますよ。(N)

人口と世帯数(7月末)

人口	7,759人	(- 17)
男	3,694人	(- 3)
女	4,065人	(- 14)
世帯数	3,795世帯	(- 4)
	()	は前月比